

東大沼第一自治会

地域の話題



自治会紹介シリーズ

『東大沼第一自治会』

16号「南警察署」の信号入口からまっすぐ延びる参道を行くと、かつてのさがみ野の面影を残すうっそうとした杜があります。正面広場の奥には、市内の戦没者等が合祀されている大きな「慰霊塔」が静かに建っています。

この慰霊塔広場を中心として円形に住宅が並んでいますのが54世帯の「東大沼第一自治会」です。

3月の暖かな午後、小宮玉男会長にお話を伺いました。

「東大沼第一自治会」は東大沼1丁目と若松1丁目の一部を区域とし、小学校区は大野小と若松小が約半々です。

慰霊塔の他にも「憩いの森」や「相模原療育園」、緑道の一部も入り、16号に面していますが参道の両側には「木もれびの森」が広がり、大沼公民館管内では最も自然豊かな区域です。

そのためか、地域清掃にはとても熱心に取り組まれていて、「会員地域清掃」が年4回行われ毎回250人もの参加があるそうです。

また、これとは別に「和交会」「東若会」「参道花の会」「東若よい子の会」や「桜の会」の方々20〜40人が毎月3回程、率先して清掃してくださっているの

ち葉の多い土地柄にもかかわらず、区域内は常に気持ちの良い清らかな空気が感じられます。

自治会の中心である慰霊塔広場では、1月の「3世代交流餅つき大会」から始まり、盆踊り大会、夏休みラジオ体操、防災訓練などを行い毎回盛況で、「3世代交流餅つき大会」では500人もの参加があるそうです。

盆踊り大会では、すぐ近くにある相模原療育園の方々を招待し、毎年楽しんでいたでいるそうです。

小宮会長は「会員の方々の協力があったこそです。」と、にこやかに話してくださいました。

また、一方では高齢化が進み、嘆いているだけではなく、近所同士声を掛け合いながら助け合うには「自治会として何ができるか」を考えていきたいと締めくくられました。

この日、参道の両側には水仙が咲き始め、広場の梢からうぐいすの鳴き声が響いていました。



↑参道脇の花壇の整備



→にぎわう盆踊り大会

次回は「自治会法人若松自治会」の予定です。